

医学部

広島大学

詳しい情報は
こちらから▼



医学部
ウェブサイト



医学部
パンフレット

医学科

6年制 臨床医/医学研究者/医学教育者/医療行政官

保健学科

4年制 看護学専攻 看護師/保健師/助産師/養護教諭I種
理学療法専攻 理学療法士
作業療法専攻 作業療法士

特定遺伝子の異常による 新規の免疫異常症を 発見

RelA 異常症の治療法の選択、 I型インターフェロン制御機構 の解明へ

免疫能が障害された小児患者に対して遺伝子検査を行い、全く新しい疾患を発見することができました。正しい診断は、適切な治療へと繋がります。今後も研究を推進し、診断に苦慮する小児の診断率向上に努めます。

岡田 賢教授 (医学) 小児科学



広島から
世界に広がる

国産初の手術ロボット 「hinotori」導入

広島大学病院では、令和4年3月に国産初の手術支援ロボットシステム「hinotori (ヒノトリ) サージカルロボットシステム」を導入しました。hinotoriを用いた手術の実施は国内で5施設目、既に導入済の米国製手術支援ロボット「ダヴィンチ」2台に加え、対応可能な手術範囲の拡大に合わせ3台目として導入に踏み切ったものです。hinotoriは関節にあたる可動8軸、医療器具が装着可能なアーム4本を備えています。出血量も少なく所要時間が短縮されることで、患者さんへの負担が軽減されることが見込まれます。



タンザニアの助産師向け スマートフォンアプリで 母親の健康に 貢献へ パイロット 研究の結果

助産師の知識の向上や、妊婦さんの医療アクセスを増やす傾向が見えてきました。グローバルな課題を国際共同研究で解決していくことは、現地のお母さん、赤ちゃんの笑顔や喜びの声につながり、とてもやりがいがあります。

新福 洋子教授 (保健学) 国際保健看護学



広島の 地域医療を 支えたい

ふるさと枠は広島県の地域医療を守るため設置されている県内限定の学校推薦型の入学枠です。通常の医学教育に加えて、地域医療(医療過疎地の医療)に触れるためのカリキュラムも多く履修します。現在、広島県内各地で約100人のふるさと枠卒業生の医師が活躍しています。



広島大学医学部では様々なDX(Digital Transformation/デジタルトランスフォーメーション)を活用した教材を開発し、質の高い教育を提供しています。

本学では1年生から臨床技能実習を行っています。結紮・縫合などの作業をスムーズに行うためには、糸が空間内のどこに位置するかを把握することが必要で初学者には難しい技能です。奥行きのある3D映像は正確な空間把握ができますので、従来の実習より縫合・結紮を理解することができます。



3D cameraによる 1年生:医療行動学
遠隔縫合トレーニング実習

新型コロナウイルスを含む「感染症対策」を共通テーマとして、「医学」「看護」「歯学」「薬学」「リハビリ」の医療教育VRを制作して実際に講義に活用しています。VRによる学習を行った学生は、従来の講義形式の学習を行った学生に比べ、より正しく感染対策を実践できたことが明らかになっています。また医学部生向けVR診察シミュレーターを開発し、臨床実習などにも用いられています。



Virtual Reality を用いた
感染症対策教育・臨床実習

創造的な
医学